

令和2年度 学校目標評価中間集計

領域	対象	具体的な目標	目標達成のための行動計画・方策など	評価	代表的な意見・評価の理由
教育活動	全般	生徒の自主性を育てる	自主活動についての議論の場を設定。生徒自らの手で主体的・自主的な学校生活を送るための支援。	4.0	<p>【自治活動支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事日程については、できる限り生徒会の意向を反映させている。特にとんぼ祭や学年クラスマッチについては、生徒会や当該学年の自主活動を支援する方向で動いている。 自治の尊重と放任の線引きが難しい場面もあるが、できる限り本校の伝統を受け継ぎ、形骸化させぬよう、生徒に考えさせる機会を作ろうと努めている。 <p>【自治活動成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒自らの自主活動を尊重しつつも、生徒会かせにやらせよう、日頃から注意・助言を行っている。 文化祭等、個別の行事については生徒・職員で深く話し合うことができた。特にコロナ対策については十分な議論を経て、行事等を行った。 <p>【学年の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幹事会・ルーム長を中心とした学年の自主活動については、6月までの休校もあり、取り組みが遅れた(一学年)。 コロナ禍でのとんぼ祭の開催について、とんぼを中心として活発な議論を行うことが出来た。(三学年)
	学習指導	広い分野で確かな学力を養う	基礎学力の育成。自学自習ができる向上心・探究心の涵養。探究的な学びの推進。	3.9	<p>【土曜日活用の研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路講演会やガイダンスおよび学年合同ホームルーム等において、学びに対する意識付けを図っている。 <p>【学年の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年夏休みにキャリア研修を実施し、企業と職業について理解を深めた。また「総合的な探究の時間」を活用し、信州大学との連携ゼミを行っている(一学年)。 <p>【教科等の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後やテスト前に基礎補習などを実施した。(数学科) 小テスト(単語、リスニング等)を行い、基礎力の定着を図っている。4技能をバランスよく取り入れようとしている。(外国語科) コロナ禍で休校となった時期に、素早く遠隔授業、動画配信を実施した。学習が遅れることなく進めることができた。(理科) テーマ毎に意見交換等のワークを取り入れ自分のこととして考える学びを重視している。(家庭科) 様々な題材を取り扱うことで、自らの探究の足がかりとなるような指導を行っている。(国語科)
		進路希望の実現を図る	新教育課程の研究。生徒の資質・能力を高める指導方法の研究。	3.9	<p>【教育課程の研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度から十分な時間をかけて議論し、探究的な学習を十分に取入れた教育課程を作成できた。 <p>【探究活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1学年においては信州大学と連携し探究的な学びの授業を通して、思考の裾野を広げ、学問への興味・関心と理解を深めた。 <p>【教科等の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学入試の過去問等を用いて個人指導を行っている。(外国語科) 放課後補習、個別指導などを実施している他、サイエンステクノロジーコンテストや大学主催の科学オリンピック養成講座などへの参加、事前指導もしている。 生徒の将来を見据えた教材等を採用し、幅の広い知識を身に付けさせる指導を行っている。(国語科)
	進路指導	計画的な指導を行う	外部講師による進路講演会、大学説明会、卒業生との懇談、進路通信、学年集会、個別面談、適性検査等を通じた進路意識の啓発。企業や大学と連携したキャリア教育の充実。教員を対象とした進路指導研修会の実施。	4.0	<p>【係の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で進路行事の開催が懸念されたが、十分な対策を講じたうえで、3年進路別ガイダンス、1年進路講演会、医学科・信州大学入試研究会および教育実習と語る会は、対面形式で開催し、2年進路講演会はWEB配信方式で実施した。 <p>【学年進路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月に本校進路指導主事による講演を実施した。また、定期的に進路通信を発行し、意識改革を促している(一学年)。 <p>【探究活動・キャリア教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績不振者向けの補習を行い、学力の底上げを図っている。(数学科) 自らの生活を振り返り、将来の人生について考えるきっかけを盛り込んでいる。(家庭科)
	生徒の自治	自治活動を保障し 自治的精神を育成する	学級活動・部活動・生徒会活動における生徒の自主性や、リーダー育成のための機会の保障と指導助言。文化祭・講演会など生徒会行事に対する支援と指導助言。	3.8	<p>【自治活動の涵養】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自治」の精神に基づき、生徒の自主性を尊重しつつ、広く社会に受け入れられる人間形成の場として、助言・指導・支援を行っている。 <p>【生徒会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒自ら主体的に取り組み、文化祭を行うかどうかを議論し、コロナ対策を怠らず、満足いく結果を残した。(文化祭) <p>【HRの実践・幹事会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幹事会・ルーム長、各種係を中心とした自主的な組織作りを図り、ようやく活動が本格化し始めている(一学年)。 様々な行事を通して、自主的に行動することの責任感を学ぶことができた。また、ルーム長中心にクラスの団結を強めることが出来た。(三学年)
	生活指導	規律ある生活のリズムをつくる	学習を中心とした生活リズムの確立(部活動・生徒会活動の時間の適正化)。清掃・保健・交通安全指導。	3.7	<p>【生活リズムの管理・交通安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車事故防止と交通マナー向上のため、HRでの注意喚起や、全職員による街頭指導(10月～11月)を実施した。事故が起こった場合には、各学年で注意喚起を迅速に行った。 <p>【学年の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 休校期間中は、高校生活の始まりであるために、生活リズムの確立のために、毎朝学年合同のSHRをオンラインで実施し、常時200名以上の生徒が参加した(一学年)。 <p>【清掃】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の指導のもと生徒が主体にしっかりと取り組んでいる。(数学科) トイレ清掃等问题が生じた際も積極的に解決できた。
適切な個人指導及び生徒に寄り添う姿勢の構築・充実		HR担任、教科担任やクラブ顧問等の密な連携。スクールカウンセラーとの連携。きめ細やかな生徒相談の呼びかけと実施。保護者との懇談機会の確保。	4.0	<p>【カウンセリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラーとの密な連携。カウンセラーのみならず、「身近な大人」として生徒の苦しみ・悩みを吸い上げる態勢の醸成。 <p>【サポート体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係部署を繋ぐ役割を担うことに務めた。 学年会での情報も共有できる情報を頻度高く共有できるようにし、学年内で閉じることなく問題を共有しようとした。 状況に応じ、メール等も用いて多忙な中でも情報が共有できるなどの工夫に努めた。 <p>【学習の悩み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年内での情報共有と対応の検討状況に応じ、学年・教科を超えての連携を図る。 	
学校運営	安心安全な学校	快適な学校環境の整備を図る	危機管理体制の整備。いじめ・体罰のない学校環境の確保。健全な職場づくりの推進。環境対策(ゴミの削減、電気・水道使用量の削減)。	3.7	<p>【いじめ・体罰への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の観察と共に、学校生活アンケートの結果を踏まえて必要な対応を行う。 <p>【職場環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ感染症対策のための換気の励行に合わせ、暖房やエアコンの利用についても配慮している。 <p>【環境対策・危機管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校衛生委員会を通じて、年休、振休取得、時差出勤の実施、ドック受診の勧奨等を行っている。 コロナ感染症対策については、県等からの通知を受けて必要な対策をとるとともに、生徒・保護者に対する注意喚起・情報提供を行っている。 <p>【環境対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校再開後は前年度より増加しているが、コロナ感染症対策のためである。
	開かれた学校	保護者との連携を図る	PTA総会の開催、学年・学級PTAの開催。地区PTAの開催。保護者面談の実施、適切な家庭訪問の実施。緊急時メーリング・システムの活用。	3.7	<p>【緊急時メーリングシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症への対応や、日課・行事予定等の変更などを、一斉配信メーリングシステムを活用して、生徒・保護者に連絡した。 必要な情報が確実に届くよう、教育クラウドサービス等も活用した情報発信にも努めている。(二学年) <p>【PTA活動・他校との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> PTA総会、学年・学級PTAとも本年度新型コロナウイルスの流行があり開催に苦慮した。 地区PTAは1地区で開催された。これも新型コロナウイルスの流行が原因である。 PTA活動の一環として行われた三枝(本校、上田、長野)交流会も中止となった。 <p>【学年等の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本年度は、学年PTAを開催することができなかったが、保護者面談や電話などにより常に家庭との意思疎通をはかっている(一学年)。 学年PTAを開催することはできなかったが、進路講話や保護者面談を行い、家庭との意思疎通をはかった。(三学年)
	開かれた学校をめざす	「評価および公開方法」の改善と充実。保護者・地域・中学校への情報発信。公開授業・中学生体験入学等の実施。学校評議員会の開催、ホームページの充実。	4.1	<p>【授業公開・体験入学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例年並の規模では実施できない部分もあったが、できる範囲で実施した。 <p>【中学校・地域への発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 直接来校してもらえなかったが、本校を理解してもらうにはなによりも重要であるということが、今年ほど感じられた年はなかったのではないかと。 <p>【学校評価・HP】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページを適宜更新することで、情報発信に努めている。特に校長通信は毎週欠かさず掲載し、学校の様子を伝えるホームページの中心的役割を担っている。生徒の評価、また学校評議員・PTAによる外部評価をおこない、会報やHPによって報告できるよう取り組んでいる。 	
学校の情報化	ICTを活用した学校環境の整備を図る。	ICT(情報通信技術)を活用した学習の研究、充実。	4.4	<p>【授業への活用実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を活用して、生徒がイメージしやすくなるよう心がけている。(数学科) 電子黒板を利用し、説明の時間短縮を図り、問題演習の時間を多く確保した。(数学科) 電子黒板、デジタル教科書、パワーポイントを用いて、生徒の興味を引く授業の展開を図っている。(外国語科) 自作作成した実験映像や、動画教材などを効果的に用いて実践している。(理科) パワーポイント・DVD・VTR等各種視聴覚教材を積極的に用いて授業を行っている。 <p>【授業への活用研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した、協働的な学びができる演習方法の研究。(数学科) 遠隔授業、動画配信などの方法を研究し、電子黒板の遠隔操作法の他、より便利にICT教材を活用する方法を研究した。またその手法を職員に共有できるよう情報発信をおこなった。(理科) ICTを用いた学習のためのワークシートを作成し、4技能を生かせる内容になるよう工夫している(家庭科) <p>【学校運営への活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種アンケート等の集約にICTを活用することで効率的な学校運営を目指し運営した。 	